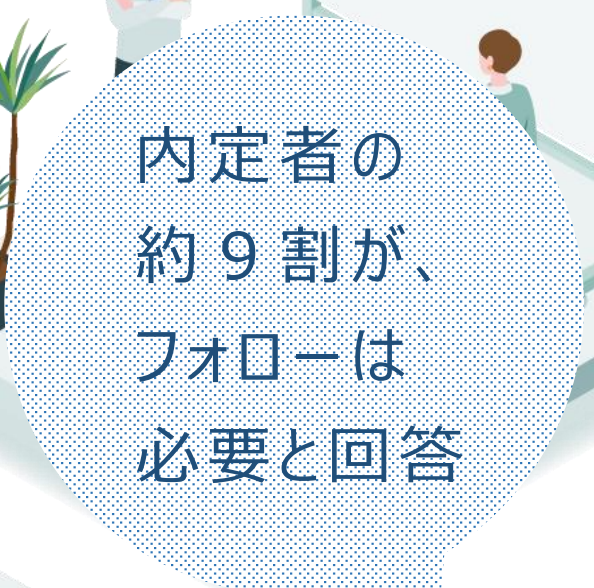




# 内定者フォロー

# 実施例まとめ

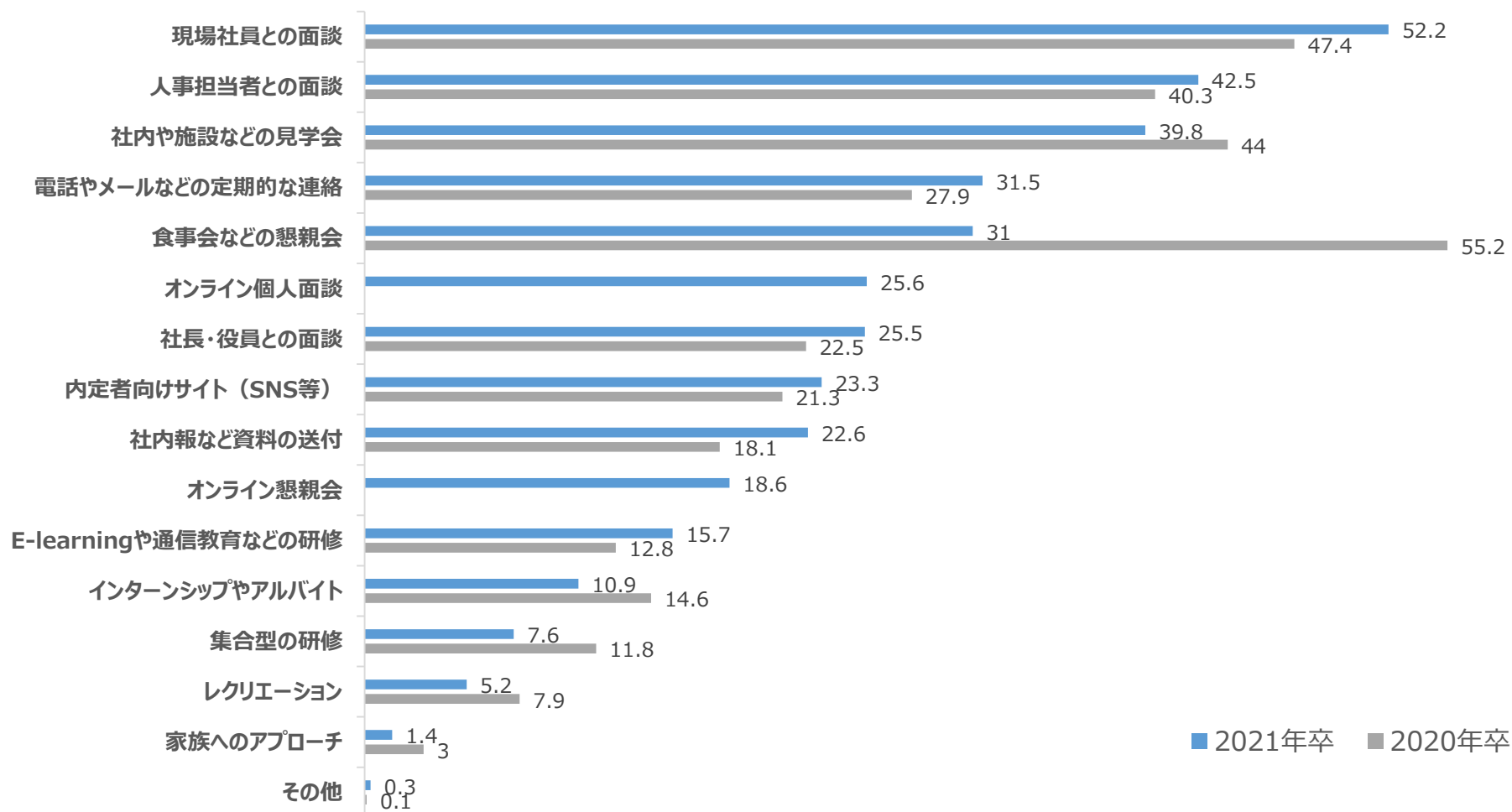


内定者の  
約 9 割が、  
フォローは  
必要と回答



# 内定者の求めるフォロー

※内定を得た企業への意思決定に必要だと思うフォロー（キャリアス就活・学生モニター調査結果 2020.06）



■ 2021年卒 ■ 2020年卒



全体では、学生の約9割が何らかのフォローが必要であると回答しています。調査結果を見ると、社員や人事、内定者との交流や、職場や仕事について知りたい、学びたいという前向きな気持ちが強いことが分かります。奇をてらった企画は必要ないのです。

# 内定者フォローでは、4つの観点から不安を取り除くことが大切です

## 接点

内定後にも月に1回程度の接点を持つのが望ましいとされています。「本当にこの会社で良かったのか」と、内定者が不安を感じやすい時期でもあるので、適宜フォローすることが大切になります。

## 交流

社員との交流だけでなく、内定者同士の交流も大事です。交流を通じて、内定辞退につながる小さな不安を取り除くことができます。また、どんな人と働くのかがわかると、学生は安心できます。

## 情報

初めて社会人として働くにあたって、仕事のこと、いっしょに働く仲間や先輩のことなど、会社のリアルな情報を求める内定者は多いです。

## 教育

教育・研修制度を重視する学生が増えています。入社前から丁寧な研修を行うことで、入社後の成長にも期待感を持ってもらえます。



# 内定者フォローの実施例

9つの施策をご紹介します。中には、準備に時間のかかるものもありますが、すぐ実践できるものもあります。ぜひ参考にしてみてください。

## CASE 01

### 内定者面談



定期的に会い、内定者の近況をヒアリングすることで、学生がそのとき感じている疑問や不安に対して、早期のケアが可能です。繰り返し接点をもつと、社員との距離が縮まり、より潜在的な悩みや問題を打ち明けてもらえることもあります。また、以下で紹介する他の施策の案内や後輩をインターンに呼んでもらうなど、採用活動の起点にもなります。

## CASE 02

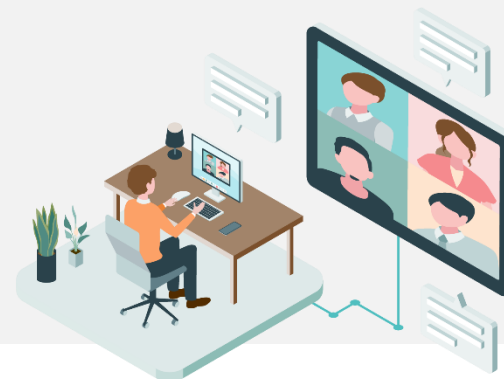
### 内定者懇親会



内定者を集め、事業内容や仕事の説明、入社前のオリエンテーションなどを行います。職場見学や社内イベント参加、研修などと同日に実施することも多く、社内で軽食を出す場合もあれば、お店を貸し切って行うこともあります。カジュアルな雰囲気の中で親睦を深めるのが目的で、人事だけでなく、社員や経営者も参加するとより効果的です。

## CASE 03

### オンライン座談会



オンラインで実施することで、学業やスポーツが忙しい人や、遠方に住んでいる内定者にも参加してもらいやすくなります。毎月、来社してもらうのは難しくても、オンラインであれば、学生に大きな負担をかけずに、定期的に交流の場づくりができます。低コストで実施できるのも利点です。コストはかかりますが、内定者SNSを運用する企業もあります。

# 内定者フォローの実施例

9つの施策をご紹介します。中には、準備に時間のかかるものもありますが、すぐ実践できるものもあります。ぜひ参考にしてみてください。

## CASE 04

### 採用サポーターとして活用



自社の採用・選考フローについて意見を出してもらったり、翌年度の採用ツール作成や採用コンセプト設計のサポートメンバーとして参加してもらったりします。学生視点でのマーケティングができるのに加えて、採用活動に携わることで、社員としての自覚が芽生え、自社の魅力について考えるきっかけにもなり、就業意欲の向上が期待できます。

## CASE 05

### 情報の提供



社内報や会社案内などを送ります。内定者向けであるため、不特定多数に配布する採用パンフレットとは異なり、より実務に近い情報開示が可能です。ただし、送付の際には、自社の理念や顧客、サービスなどについて、理解が深まるものであるか、よく吟味してください。また、ツールは送りっぱなしではなく、面談などで活用できると、より効果的です。

## CASE 06

### 職場見学



配属予定の職場を見学します。可能であれば、上司や教育担当などの顔合わせもできると、内定者の安心につながります。研修や内定者アルバイト、懇親会なども同時に実施できると充実したプログラムとなります。職場見学の前には、デスク周りの美化や周囲の社員の立ち居振る舞いなどにも気を付け、逆効果にならないように注意してください。

# 内定者フォローの実施例

9つの施策をご紹介します。中には、準備に時間のかかるものもありますが、すぐ実践できるものもあります。ぜひ参考にしてみてください。

## CASE 07

### 社内イベントへの参加



表彰式や忘年会、BBQなど、社内行事に参加してもらいます。仕事から離れた場で、会社の雰囲気を感じてもらえる良い機会になります。実施は、あくまでも自主参加とし、参加できない人にも気を遣わせる配慮が必要です。また、社員への事前告知を行い、当日には内定者の紹介時間を設けるなど、打ち解けられるような配慮もしてください。

## CASE 08

### 内定者アルバイト



実際の現場で働いてもらいます。任せるのは、入社後の担当業務に関する内容が望ましいですが、リアリティショックを避けるため、下積み的な仕事は避けた方が無難です。業務フローが理解できる仕事やその職種の醍醐味が味わえる仕事を任せられると、就業意欲向上が期待できます。内定者の負担にならないスケジュールで実施しましょう。

## CASE 09

### 通信教育



テキストや参考書を送付したり、Webの通信講座を会社負担で受講してもらったりします。職種によっては、ITパスポートなど、仕事に役立つ資格の取得を目指してもらうのも有効です。月に1回程度のオンラインでのグループワークや座談会などと組み合わせて実施すると、学習効果が高まり、企業や内定者間の関係構築にもつながりやすいです。